



ほけんだより

7月



平成 28 年 7 月 3 日
緑の家保育園

じめじめとした季節に入りました。この時期感染症や食中毒が起こりやすくなります。手洗いとうがいを励行し感染予防を行い拡大しないようにしていきましょう。

- 5/30 たんぽぽ組とすみれ組に「心臓について」話しました。子ども達は等身大の人体模型の「ゆう君」が大好きです。「早く見せて」とせがまれました。心臓のある場所や働きについて説明し心臓が止まってしまうことは「命」が終わってしまうことや、英語で「ハート」「心」であることを話しました。最後に聴診器を使って自分やお友達の心音を聴き「きこえたぁー」と大声を出していました。後にすみれ組の部屋を訪れた時私の方に寄ってきて「ハート」と言ってきたり、左胸に手を当てて「命って大切なんだよねえ」と話かけてくれました。「命」のことがわかってもらったかなと嬉しく思いました。
- 6/6 ちゅうりっぷ組に「手洗いとうがい」の話と実施をしました。家でも手洗いとうがいの習慣づけをお願いします。
- 7/4 よりプールが始まります。体調を整えて安全で楽しくプールに入れるようにしていきましょう



プールの事前準備



- * 水着、タオル、洋服など持ち物に名前はかいてありますか？再度確認をお願いします。
- * 耳、鼻、喉、目、皮膚の病気は治療を済ませておきましょう。また、治療中の病気などがあれば、事前にお知らせください。
- * 爪を切りましょう。爪が長いと、お友達に怪我をさせてしまうだけでなく、自分自身をも傷つけてしまう可能性があります。毎日のチェックをお願いします。

こんな時はプールに入れません。

- 37.5℃以上の熱がある。または、前日 38.0℃以上の熱があった。
- 鼻水や咳が出ている。
- 喉やその周りが赤い、喉に痛みがある。
- 目が赤く充血していたり、目ヤニが普段より多くでる。
- 下痢や軟便、嘔吐をしている。
- 普段より多く耳だれが出ている、耳の痛みを訴える。
- 水いぼなどの感染性のある皮膚症状がある。
- 薬を飲んでいる（予防薬は除く）・ホクナリンテープを貼っている
- 手足に傷がある・バンドエイドを貼っている
- とびひになっている

プール熱

プール熱は医師からはアデノウイルスと言われることがあります。夏かぜの一種で感染力が強く、唾液や鼻水、目やに、便などが感染源です。39℃以上の高熱、喉の痛み、体のだるさ、結膜炎といった症状の他に、頭痛、腹痛、下痢などの症状が出ることもあります。感染した場合は学校保健法により休むことが義務付けられています。症状が治まっても便の中にウイルスが 30 日間程度排出されます。プールの前後にはしっかりとシャワーを浴び、プールの後にうがいを行うのが一番の予防法です。



流行性角結膜炎

流行性角結膜炎（りゅうこうせいかくけつまくえん）はアデノウイルスの感染で起こる、結膜炎の中でも一番典型的な病気で、1～5歳によく見られます。潜伏期間が8～14日と長く、目の充血、多くの目やに、涙に加え、リンパ節の腫れや痛みなどを伴います。感染力が強いため、発症したら医師の指示に従い、許可を得てから登園しましょう。症状は発病してから1週間くらいがピークですが、完治には2～3週間かかります。感染力も強いので、タオル、ティッシュペーパー、洗面器など、顔に触れる物の共有は控えましょう。



お知らせとお願い

- 髪の毛の長いお子さんはゴムで束ねての登園をお願い致します。（皮膚トラブルの原因になったり、水泳帽を着用しにくい等のございます。）
- プールが始まります。プールでの事故だけでなく、自分自身やお友達を傷つけてしまう事もありますので、爪のチェックを再度お願いいたします。
- 水いぼがある際は出来る限り患部の隠れる水着の着用をお願いいたします（ラッシュガード等）
- ほけんだよりの裏面に「沐浴・プールカードの記入方法」を載せていますので確認の上記入をお願い致します。

